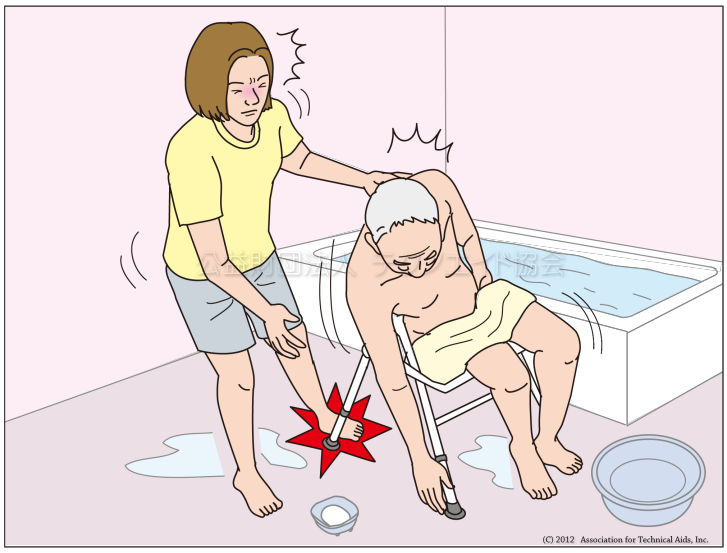
福祉用具ヒヤリハット　研修教材（講師用）

Case：272

介助者の足がいすの脚に接触し、バランスを崩して転落しそうになる

場面の説明

介助者の足で入浴用いすの脚を蹴飛ばしてしまい、衝撃で本体が傾き利用者が転落しそうになった



利用シーン	入浴
主な利用場所	浴室・脱衣所
介護保険の種目	入浴補助用具
分類コード (CCTA95)	093303 (入浴用チェア)
介護テクノロジー	ー
二次元バーコード	

解説

介助者は、狭い浴室で介助に夢中になり足元に注意が及ばなかったとコメントしていますが、いすを転倒させるほどの力で接触したわけではなく、そもそも座位のバランスが悪く、少しの振動でも崩れてしまう可能性があったと考えるべきと思われます。直接的には介助者の不注意ではありますが、その要因のみで終わらせることなく、利用者の状態と入浴用いすの不適合を原因として対応することが必要です。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

人：洗体に集中していて足元をよく見ていなかった
モノ：入浴用いすの足が構造上座面よりも広がっていた

作成：公益財団法人テクノエイド協会
Copyright 2026 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.